

令和7年度新宿区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名:新宿区立長延保育園

施設所在地:東京都新宿区市谷長延寺町8

1-1 活動テーマ 「自然」



1-2 テーマ設定理由

長延保育園で毎日遊んでいる園庭や裏庭は自然が豊かで、子ども達は日頃から自然に触れ、植物や虫探し、探索などをする姿が見られます。

その環境をより生かし、身近な自然に触れるなかで、子ども達の興味関心をさらに深めるため「身近な自然と仲良くなろう」をテーマとして設定しました。

2-1 活動スケジュール

第1回 5月 自然遊びプログラム

第2回 7月 生き物をよく見て仲良くなろう

第3回10月 生き物探し①

第4回12月 生き物探し②

3-1 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

いつでも子ども達が自分で出し入れできるように、戸外用の整理棚を設置し、そこに自然物を使った遊びが展開できる用具を準備しました。(各種透明カップ・小分け容器・箱型虫メガネ・昆虫飼育用品・色水づくりセット・など)

見つけたものをじっくり見たり、様々に試したりできるテーブルなども設定しました。



4-1 探究活動の実践 活動の内容

【3歳児】

- 生き物をよく見て触れ合い、どうやって触ったらいいか、どんな場所や食べ物が好きなのかなどを学びました。
- ダンゴムシなど、園庭にいる虫を探し、虫眼鏡で見て、どんな所に住んでいるのかを考えてみました。
- 落ち葉貯めに手を入れて触ってみました。温度や湿度など、土の中の小さな虫が好む場所がどんな所なのかを自分自身で体感しました。

【4・5歳児】

- 砂、湿った土、など数種類の場所を用意し、どこに行くかなど「虫の実験」をしました。生き物を観察し、触れ合うことで触り方や何を好むかを一緒に考えました。
- 園庭のどんな所に生き物がいるか、野菜栽培のプランターにはどんな虫がいるかを探してみました。見つけた虫を虫眼鏡でよく観察し、それぞれの動きや特徴を発見しました。
- 落ち葉貯めを観察し、中の土をはどんな感じなのかを予想して触ってみました。表面と中の温度や湿度が違ったり、普段の土との違いに気づきました。
- 園庭に遊びに来る鳥の痕跡を追って園庭を探検し、どこに来るのか、どんなものを食べているのかなどを考えました。(5歳児のみ)

4-2 活動中の子供の声、子供同士や保育者との関わり

【3歳児】

生き物との触れ合いの際、講師からの「強く触るとよわるので指を1本出して優しく撫でようね」との言葉かけに、やってみようとする気持ちが芽生えていました。ダンゴムシを元居た場所に戻し、「お布団かけてあげようね」と優しい気持ちで関わっていました。

【4歳児】

土の中から生き物を探し、箱型虫メガネに入れて観察しながら、「ぐねぐねしてる」「毛がある」と驚いたり、友達の虫を見せてもらったりしていました。落ち葉貯めに手を入れる際にためらっていた子どもも、友達が触っているところを見たり、保育者の言葉かけを受けて安心して体験していました。

【5歳児】

シャベルの使い方や生き物の触れ方についての言葉かけをすぐに理解し、友達と教えあいながら実践していました。鳥のご飯はどれかを「青っぽいからこれじゃない?」「あっちにもあるよ」など友達と話しながら良く観察し、想像して答えを予測していました。



5-1 振り返り 振り返りによって得た保育者の気づき

【3歳児】

本物の生き物を観察したり、やさしく触ったりという体験をしたことで、つまむ、触ると言った力の加減が理解できました。生き物を探す眼が育ち、根気強く虫を探せるようになりました。

日常でも虫の話をしたり、幼虫に親しみをもったりして興味が深くなり、心に残る体験となったと感じます。



【4歳児】

今までは生き物を捕まえた際、容器に入れて観察をしていましたが、「どんな所が好きなのだろう」という視点が加わったことで、観察や飼育への興味が更に深まりました。



【5歳児】

生き物を見つけ、虫めがねで観察することにとっても興味をもち、講師の話をよく聞き行動することができていました。良く見ることでたくさんの発見を楽しむ姿が見られました。



【全体】

講師からの投げかけについて、対象物を良く見て、積極的に感じた事を言葉に出したり、質問したりする姿が見られました。

保育者としては実物を触ったりすることが体験している、ということと考えがちでしたが、観察する、見守るということも体験のひとつであると気づきました。そして、実体験の大切さを改めて感じました。